

輸血・細胞治療部

【専門】輸血医学



た さき てつ のり
田崎 哲典

出身大学(卒年) ●
広島大学 (昭和 58 年卒)
出身地 ● 福島県
趣味 ● 山歩き
外来日 ● 月曜～金曜 (午前・午後を
佐藤医師と分担)

メッセージ ●

皆様の治療に「輸血」が必要となる場合があります。私どもはその全てを、責任をもって管理しております。治療は医師に自分の心身を委ねることであり、信頼、安心が最も大切なことと考えております。

【専門】輸血、血液内科、内科一般



さ とう とも ひこ
佐藤 智彦

出身大学(卒年) ●
東京大学 (平成 15 年卒)
出身地 ● 青森県
趣味 ● ジョギング、スポーツ観戦
好きな言葉 ● Hope for the best,
prepare for the worst. (最善を
望み、最悪に備えよ)

外来日 ● 月曜～金曜(午前・午後を田崎医師と分担)

メッセージ ●

手術前に自己血を貯められる方や、幹細胞移植のドナーさんからの採血を主に担当しています。当院での安全・安心な輸血のために全力でサポートしてまいります。

表紙の
説明

外来棟 1 階エントランスホール

外来受付、サポートエリア、カフェなどを配置しております。正
面入口から入ると目の前に広がるのは、「慈恵プラザ」です。通りに
面した部分は、ガラス張りで見やすい雰囲気となっております。

都心型リハビリテーション科誕生！

国内に多くの病院にリハビリテーション科はありますが、慈恵医
大のリハビリテーション科は私学で 4 番目にできた医学講座を母体
とした歴史ある診療科です。新橋を拠点として、医師やコメディカ
ルスタッフを 3 つの分院に配置し、様々な診療科のニーズや病態に
対するリハビリテーション医療を提供しています。

入院されて治療や病態により身体機能の低下や活動能力の低下、
コンディションの異常などが懸念される場合に主治医の先生から依
頼を受けて、患者様の社会復帰のお手伝いをいたします。また、
ICU や CCU といった集中ケアユニットにも関わっております。

新外来棟の 6 階にある 6 J エリアにリハビリテーション科はあり
ます。医師をはじめとして総勢 40 名ほどのスタッフが勤務してい
ます。診察エリアには 3 つの診察室と、世界で初めて脳卒中治療を
体系化した経頭蓋磁気刺激治療を行う「磁気刺激室」を 3 つ備えて
います。

理学療法エリアは、1 周 40m の「歩行エリア」や最新機器を備
えた「心臓リハビリテーションエリア」、あらゆる身体機能を解析
する「解析室」や足圧分析を瞬時に実行するトレッドミル歩行装置、
筋電計などを備えた「治療エリア」を駆使し、最大限の機能再建を
はかるために治療を行っております。

作業療法エリアは、上肢機能障害に対して積み重ねた診療データ
をもとにした診療を提供しています。非常に珍しいオリジナルの「日
常生活動作 (ADL) 室」には、高さの調整ができる洗面台やキッ
チンを設置、入浴動作や家事動作などを具体的な環境で行うことが
可能です。

言語療法エリアは、医師との密接な連携をもとにした「失語症の
治療」や病棟にて看護師と協力して行う「摂食嚥下療法」などを行
います。作業療法士と協力して進めてきた「復職支援」はジョブコー
チを配置して展開する方針です。

小児医療や高齢者医療と同じように、障害医療というカテゴリー
で考えた場合、リハビリテーション科スタッフはこの障害医療のプロ
集団です。これからも慈恵医大の 1 つの柱として様々な医療ス
タッフと協力しながら、チーム医療を推進していきたいと思いま
す。



東京慈恵会医科大学附属病院

〒105-8471 東京都港区西新橋 3-19-18
TEL 03-3433-1111 (代)
URL <https://www.hosp.jikei.ac.jp>



すこやか インフォメーション

No. 62
2020



外来棟 1 階エントランスホール

特集記事

約 400 年前の試みに 始まった輸血

今、単なる補充療法から積極的な細胞治療へ

特別記事

診療科目別医師・技師紹介
輸血・細胞治療部/
リハビリテーション科

健康コラム

都心型リハビリテーション科誕生！

お知らせ

西新橋キャンパス
再整備計画について ⑪

技師紹介

輸血・細胞治療部



ほり ぐち しん ごと
堀口 新悟

勤続年数 ● 28 年
出身地 ● 東京都
趣味 ● 釣り
好きな言葉 ● 誠心誠意

メッセージ ●

輸血・細胞治療部は医師 2 名、臨床検査技師 11 名で、院内の
関連部署や日本赤十字社と連携し、輸血が安全に、かつ適正に
行われるよう取り組んでいます。

リハビリテーション科



なか やま やす ひで
中山 恭秀

勤続年数 ● 27 年
出身地 ● 東京都
趣味 ● 息子とテニス、娘とバレー
ボール、仲間とゴルフ
好きな言葉 ● 千里の道も一歩から

メッセージ ●

リハビリテーション科の技師長をしております。専門は理学
療法で、特に動作や歩行障害を三次元動作解析装置や筋電図
を用いた評価をもとにした診療をしています。これからも多
くの患者様の生活の質を向上できるように努めていきたいと
思います。



輸血・細胞治療部

約400年前の試みに始まった輸血

今、単なる補充療法から積極的な細胞治療へ

皆様は「輸血」という言葉から何を連想されますか？

出血や手術、献血やABO/Rh血液型、ご自身やご家族の治療、或は感染や異型輸血事故などの問題



■図1 輸血の様子、Lancet (Vol II, 1828-9)

を想い浮かべる方もおられることと思います。最近、iPS細胞から血小板を作ったとの報告があり、安全な血液が安定的に提供されれば、更に高い治療効果が期待できます。

血液は紀元前から人間の深い関心事でした。古代エジプトでは王侯貴族が病気治療のために血液の浴槽に浸かったといわれます。人から人への輸血は1615年、Libaviusが病人と健常人の血管をチューブで繋ぎ、病人を回復させたのが最初とする説があります。しかし一般には1829年、輸血成功例の詳細を学術雑誌に残したロンドンの産婦人科医Blundellが最初とされております(図1)。そして1900年、オーストリアのLandsteinerが血液型を発見し近代輸血が幕を開けました。その後は抗凝固剤の発見、主な感染症・副作用の克服、献血制度の確立、優れた検査・保管・輸血法の開発と、急速な展開により現代の輸血療法が確立しました。様々な医薬品が目白押しの今日においても、未だに他人の体内で作られた血液(細胞、血漿)に代わる製品はなく、高度医療を支える不可欠な存在です。輸血はいわば最初に行われた細胞移植・治療ですので、正しく行わないと拒絶、副反応が生じます。諸刃の剣になることは常に認識しておかねばなりません。

さて当院に輸血部が創設されたのは昭和38年で、大学病院の中でも相当に早い時期です。平成30年4月に輸血・細胞治療部と改称しましたが、半世紀以上の歴史がありま

す。主な役割は、①血液製剤の保管管理、②輸血検査、③採血業務(自己血、末梢血幹細胞)、④法律を遵守した輸血医療の推進、⑤教育などです。輸血の有効性を最大限に引き出すには副反応の回避が重要であり、正しい保管管理・検査は基本です(図2)。一般に輸血は赤十字血液センターで集められた献血者由来の血液を用いることですが、自分自身の血液を用いる自己輸血もあります(図3)。当院では適応のある方、全てを対象に行っておりますので、手術を受けられる方は担当医にご相談ください。また造血幹細胞移植に関する業務(末梢血幹細胞採取、検査、保管、骨髓液処理など)も行っております(図4)。大学病院ですので、学生や医師、看護師、臨床検査技師などの輸血教育も担当しておりますし、輸血に関する研究も行っております。

以上が輸血・細胞治療部の概略です。血液製剤の管理や検査のみならず、直接、皆様の治療に関わっている部門であることがお分かりいただけたかと思います。輸血は献血者の善意に支えられております。見知らぬ方の治療に自分の体の一部(血液)を役立てて欲しいという心が1本1本の血液に込められております。その気持ちをお届けすべく日々、多くの方々に感謝し、治療と業務にあたっているところです。

輸血・細胞治療部 田崎 哲典



■図2



■図3



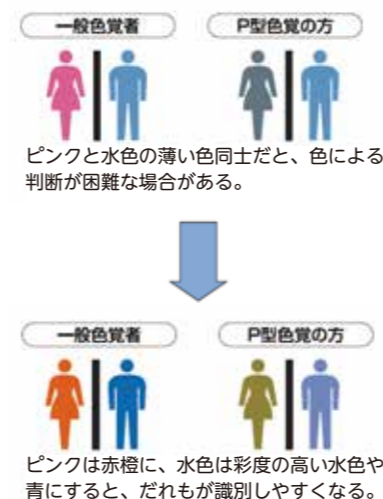
■図4

西新橋キャンパス再整備計画について①

■新しい外来棟・N棟はカラーユニバーサルデザイン認証を取得します

カラーユニバーサルデザイン(以下CUD)とは、色の見え方が一般と異なる(色弱の方、白内障、緑内障など)の方にも情報が正確に伝わるよう、色使いに配慮したデザインのことです。CUDのポイントは以下の3点です。

- ・できるだけ多くの人に見分けやすい配色を選ぶ
 - ・色を見分けにくい人にも情報が伝わるようにする
 - ・色の名前を用いたコミュニケーションを可能にする
- 具体的には、以下のような事例があります。



※東京都カラーユニバーサルデザインガイドラインより抜粋

当院のトイレのピクトサインは橙色に近い赤色を採用し、色の塗り分けの判読が難しいものは、境に白抜きの輪郭線を入れて、色同士が混同することを防いでいます。

また、フロアマップは、ブロックナンバーのみに色を使用し、白黒でも内容を識別できるようにしています。一見シンプルに見えますが、色の見え方に関係なく、情報が正確に伝わるよう工夫しています。

〈ピクトサイン〉



※下地とピクトグラムのコントラストを明瞭にしました。

〈サイン計画の一例〉



◀【1階 新橋口】フロアマップは色による識別を極力減らし、記号・色と文字を合わせて表示することで見え方の違いを解消しています。

■E棟1階～4階の改修工事を行っています

E棟旧総合母子医療センター跡地の改修工事は、一部を除き完了予定です。

【改修工事後(5月)の移転】

E棟	1階	ローソン、理容室・美容室、クリーニング店など
	2階	スポーツウェルネスクリニックなど
	3階	中央検査部(細菌検査室、遺伝検査室)、治験センター、臨床工学部など
	4階	計画中